

農山漁村等地域の情報集積を活用した持続的可能な農山漁村等地域育成への貢献

タイトル 福井県 J Aバンク 食農教育応援事業

J A名 福井県信連（福井県）

1 動機 （経緯）	県内の子ども達に食農教育・金銭教育などに関する理解促進を図ること、また、福井県 J Aバンクが地域の子どもの達や住民の豊かな生活づくりに貢献していることを県内一円に幅広く P Rすることを目的として開催しました。
2 概要	10 月 11 日（土）に「福井県 J Aバンク presents キッズ・アグリマーケット in 大和田げんき祭り」を開催しました。このイベントは、県内の農家の方を訪問して自らの手で野菜（昨年度はミディトマト、コカブ、いんげん豆、ほうれん草、きゅうり）の収穫・選別・箱詰めを体験し、会場内に設けたブースにて一般の方に対しての販売活動まで行う、農業の仕事全般に触れてもらうものです。また、お金に関する授業をあわせて実施し、収穫された野菜にかかる諸費用、野菜の売値の決め方なども学習しました。
3 成果 （効果）	県内の小学生 50 人を募集したところ、定員を大幅に上回る応募がありました。収穫体験では、「収穫体験はとても難しかったけれども、きれいなものが採れ、とても楽しかった」「キズがつかないよう選別ができた」と喜ぶ声が聞かれました。販売体験では「お客さんを集めることが難しい」との感想もありましたが、元気よく大きな声で、一般のお客さんに対し呼び込み・接客を行っていました。また、イベント内容を撮影してテレビ番組として放送し、県内の方々にも福井県 J Aバンクの食農教育への取組みを P Rすることができました。
4 今後の 予定（課題）	今回の企画は昨年度初めて実施したものでしたが、子ども達へ“農業”の魅力を伝えるために、ただ教材を用いて学ぶのではなく、実際に自分自身で体験をする最高の場を提供できたと感じます。また、本イベントの応募者も大変多く、県内の小学生の農業体験に対する関心の高さもうかがえました。 平成 27 年度も同様の企画を実施予定で、現在、開催に向け準備を進めています。